



## 東日本震災遺児招待

### アメリカサマー留学報告

NY育英学園ではこの夏、先の東日本大震災で家族をなくした遺児二名を、東北（岩手県陸前高田、福島県相馬）からサマーデイキャンプに招待しました。震災後、すぐに子ども達の教育支援のための救済ファンドを立ち上げ、日本赤十字やあしなが育英会に寄付金を送ってきましたが、今回はNY育英学園が主体となり、震災遺児を育英サマーデイキャンプに招待することにしました。

まず、日本側では、震災遺児の支援に当たっているあしなが育英会が、出発までの手続きをはじめ、成田空港までの付き添いをしてくださいました。



ニューヨーク到着後は学園職員の手でホームステイし、一週間の滞在で、デイキャンプでは理科実験、工作、水泳、音楽など同年代の子ども達と楽しいひとときを過ごしました。また、毎日の英語学習の時間にもチャレンジし、最終日の発表会後には米人教師とハイタッチをするまでにとけ込んでいました。さらに、放課後は野球教室やダブルダッチの体験、ホームステイ先では近所のスーパーでの買い物、ダイナーでの食事などの経験をし、時には近くまで来るリスや鹿に驚いたこともありました。

今回のプロジェクトに対し、児童心理の専門家の方をはじめ、多くの方からご協力のお申し出がありましたことに、心より感謝申し上げます。特に国連日本人職員有志十六名の皆様方からは、合計1720ドルのご寄付を頂き、全額を航空券代に当てさせて頂きました。また、航空券手配に際し、アムネット様より格別のご配慮を頂きましたことを記して感謝申し上げます。

NY育英学園では来年以降も震災遺児の招待を計画しております。今後とも皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

